

科目名		授業形態		担当教員名	
言語発達障害演習Ⅱ		講義		西田 和子・平口 昌広	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回		2 年次	前期
授業の目的・概要					
ビデオ観察による検査や行動観察から総合的に評価し、目標設定と具体的な指導方法について理解する。					
授業の到達目標					
1．検査・行動観察・情報収集から実態把握ができる。 2．幼児期から学童期の評価、指導について理解し、目標設定ができる。 3．目標設定し、教材を作成する。					
授業計画					
回	内容				
1	オリエンテーション 事例① 指導の展開（西田）	16	事例④ 総合所見FB 教材作成	（西田）	
2	事例① 指導の展開（西田）	17	遊びの実際	（西田）	
3	事例① 指導の展開（西田）	18	遊びの実際	（西田）	
4	事例② 指導の展開（西田）	19	事例④ 教材発表	（西田）	
5	事例③ 事例呈示・行動観察（西田）	20	事例④ 教材FB	（西田）	
6	事例③ 行動観察まとめ（西田）	21	小児セラピーの進め方	（平口）	
7	事例③ 検査分析・評価（西田）	22	VTR評価 ①（自由遊び場面レポート①）	（平口）	
8	事例③ 検査分析・評価（西田）	23	定型発達の理解	（平口）	
9	事例③ 検査分析・評価 総合所見（西田）	24	VTR評価 ②（自由遊び場面レポート②）	（平口）	
10	事例③ 総合所見FB 報告書の書き方（西田）	25	VTR評価FB	（平口）	
11	感覚統合・臨床観察（西田）	26	VTR評価 ③（自由遊び場面レポート③）	（平口）	
12	運動遊び（西田）	27	VTR評価FB	（平口）	
13	事例③ 報告書FB 検査の解釈（西田）	28	VTR評価 ④（自由遊び場面レポート④）	（平口）	
14	事例④ 事例呈示 検査分析・評価（西田）	29	VTR評価FB	（平口）	
15	事例④ 検査分析・評価 総合所見（西田）	30	VTR評価 ⑤（自由遊び場面レポート⑤）	（平口）	
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
筆記試験					
レポート・課題	100%	西田（65%） 平口（35%）			
小テスト					
平常点					
その他					
自由記載	各レポートで基準に満たない場合は、再提出がある。				
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学			石坂郁代・水戸陽子 編		医歯薬出版
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版			藤田郁代 監修		医学書院
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
発達がわかれば子供が見えるー0歳から就学までの目からウロコの保育実践			田中真介 監修		ぎょうせい
自由記載					
備考					